



ココロ豊かに、いろんなことを学んでいます！

4/5「福住保育所入所式」から

福住保育所で入所式が行われ、新たに2歳児1名、3歳児1名を迎え、園児は13名になりました。

お兄さん、お姉さんも新たな気持ちで新年度スタートです！

びほろ町

ぎがい

3月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など 2 P

一般会計13年ぶり110億円超

新年度予算審議 4 P

こんなことを聞きました

一般質問 9人登壇 7 P

情報共有と政策提案の拡大を目指して

議会報告会・意見交換会を開催 16 P

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No. 224 平成29年5月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会広報編集委員会

3月定例会

新年度予算・屋内多目的運動場整備基金の設置などを審議

3月定例会の概要

3月定例会のあらまし

【7日】会期を17日間と決定し、町長から行政報告を受けた後、農業委員会委員の任命、基金条例の一部改正など、28年度関連議案を審議し、原案どおり可決しました。続いて、29年度関連議案を一括上程し、町政執行方針と教育行政執行方針が示された後、議員1名（上杉）が一般質問に登壇。室内多目的運動場整備などについて活発な議論が交わされました。

【8日】議員6名（戸澤・中嶋・坂田・稲垣・吉住・大江）が一般質問に登壇。町道等の舗装化、在宅子育て支援ポイント制度の導入、スマホ育児、地域おこし協力隊、スケートリンク場の整備、通院医療費助成の拡大などについて活発な議論が交わされました。

【9日】議員2名（高橋・岡本）が一般質問に登壇。観光政策の展望、災害時のトイレなどについて活発な議論が交わされました。その後、各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。

【10、13日】9日に続き各担当部長から新年度関連議案について説明を受けた後、各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理しました。

【14、15日】議決休会とし、各議員が疑問点を整理し、資料を要求したものに対して、関係部局が資料を作成しました。

【16、17、21、22日】新年度予算案など議案に対する質疑を行いました。

【23日】開会后、休憩し、会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、全て原案どおり可決しました。その後、専決処分など5件の報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認し、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附について

株式会社太陽グループ代表取締役社長 東原俊郎様から100万円、北見東京電波株式会社様から美幌工場跡地の町内美禽315番地など16,192.56㎡（固定資産税評価額28,288,402円）をご寄附・ご寄贈いただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用していきます。

◆スポーツ施設の整備について

冬期間における室内を利用した健康増進やスポーツ練習場の確保について多くの意見・要望が出されていることから、ゲートボール場としての利用をはじめ、町民の健康増進とスポーツ振興が図られる施設として、屋内多目的運動場整備を進めていきたいと考えています。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師退職及び医師確保について

下記のとおり医師退職及び採用が決定しました。今後は常勤医師9名の診療体制により質の高い医療サービスの提供を努めるとともに、引き続き、地域医療を守る観点から眼科医師の常勤化や産婦人科医師の招へいなど、将来を見据えた医師確保対策に取り組んでいきます。

【退職】3月31日：高正光春 医師（常勤医 消化器内科、副院長）

3月31日：杉浦有重 医師（常勤医 総合診療科）

【採用】4月1日：横山康弘 医師（常勤医 外科）



専決処分の承認（補正予算）

一般会計

- リリー山スキー場圧雪車修繕 172万5千円
 - 固定資産税訴訟弁護業務委託料 52万5千円
 - 町道除排雪事業費の追加 4千258万8千円
- について急を要したことによる専決処分を承認しました。

専決処分とは……

予算や条例など町長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること。緊急時で議会を招集する時間がない場合のほか、議会が議決すべき議案を議決しないといった時や議会の権限に属する軽易な事項で、議決により特に指定したものについても、専決処分をすることができます。

補正予算

平成28年度補正予算（一般会計・4特別会計・2事業会計）は全て原案どおり可決しました。主な補正内容は次のとおりです。

一般会計

- 役場庁舎改築基金積立金 2億円
- 屋内多目的運動場整備基金積立金 1億4450万1千円
- 中央保育所財産処分（転用）に係る国庫納付金 208万6千円
- 中体連大会参加等負担金の追加 292万2千円

特別会計・企業会計

- 国民健康保険特別会計は、受診件数の減少に伴う療養給付費の減額補正
- 介護保険特別会計は、利用者増加に伴う施設介護サービス給付費の増額補正
- 公共下水道特別会計は、建設事業費の確定に伴う減額補正
- 個別排水処理特別会計は、個別浄化槽設置工事費の確定に伴う減額補正
- 水道事業会計は、水道管路整備事業の確定に伴う減額補正
- 病院事業会計は、医療機器更新事業の確定に伴う減額補正

各会計補正額と補正後の総額

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計（第12号）	9,016万円	107億1,236万円
国民健康保険特別会計（第5号）	△4,819万円	31億2,259万円
介護保険特別会計（第4号）	273万円	17億2,226万円
公共下水道特別会計（第4号）	△1億536万円	10億8,092万円
個別排水処理特別会計（第3号）	△296万円	8,635万円
水道事業会計（第4号）	△2,997万円	7億4,766万円
病院事業会計（第4号）	△2,578万円	24億5,291万円

※（ ）内は、補正回数
※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

人事案件（オホーツク町村公平委員会委員・美幌町農業委員会委員）

選任・任命の同意により、次の方々に決まりました。

オホーツク町村公平委員会委員

田村 昌文氏（再） 置戸町字北光 95 番地の133

美幌町農業委員会委員

小林 勝義氏（再）	瑞治 119 番地	加藤 安弘氏（再）	田中 828 番地
大西 政雄氏（再）	豊幌 98 番地の8	根塚 信義氏（再）	美禽 55 番地の2
千葉 正美氏（再）	高野 175 番地の1	鈴木 幸往氏（再）	報徳 207 番地の9
白石 愛氏（再）	駒生 317 番地の124	木村 勝彦氏（新）	稲美 263 番地の2
松本 訓宜氏（再）	美富 430 番地	寺本 恵二氏（新）	稲美 153 番地の2
日並 洋氏（新）	日並 77 番地	日下 優氏（再）	豊富 497 番地
東砂 裕理氏（再）	福住 655 番地	日並 一三氏（新）	東町1丁目104番地の18
佃 徹氏（新）	昭野 371 番地	小泉 豊和氏（新）	美禽 353 番地
西 学氏（新）	福住 364 番地	齋藤 一男氏（新）	栄森 38 番地の95
中村寿恵子氏（新）	報徳 316 番地の7	重清 幸良氏（新）	美禽 197 番地の4

一般会計110億5,274万5千円

13年ぶりに110億円を上回る予算規模

町民会館改築建築工事が本格始動

平成29年度の予算編成にあたっては、第6期美幌町総合計画で掲げる将来像「ひとがつながる、みらいへつなげる」の現を指し、実施計画に搭載された事業を着実に推進するための経費を積み上げた結果、一般会計は、13年ぶりに110億円を上回る予算規模となりました。

建築工事が本格化する町民会館改築事業費の増加が主な要因ですが、役場庁舎の建設や屋内多目的運動場の整備に向けた経費を計上するなど、未来へつなげる投資を確実に進めるための積極予算です。

ここでは、一般会計を中心に、予算質疑の内容をお知らせします。

総務費

庁舎耐震診断委託料

(913万円)

問 庁舎改築基金を設置し、改築を行う予定があるのに、あえて庁舎耐震診断が必要か。

答 耐震診断を実施したうえで、庁舎整備のあり方、必要性を町民に説明していくことが重要であると考えている。また耐震診断を行うことで、補助金を活用した庁舎改築が可能となり、将来の財政負担を軽減できると考えている。

防犯灯等LED化調査委託(800万円)

問 調査内容及び調査後の対応(取替計画期間)は。また、電気料の削減はどの程度か。

答 平成29年度に設置灯数・位置・種類の調査を行い、平成30年度に灯具交換を行う。また、年間電気料は2千480万円程度削減される見込となっている。

衛生費

乳幼児等医療費扶助

(2千667万円)

問 助成対象の拡大(小中学生の通院)に向けて今後の考え方は。

答 将来への財政負担など懸案事項を検討しながら前向きに取り組む、平成29年12月までに、一定の方向性を示したい。

口マンチック街道交通支障木剪定委託

(172万円)

問 剪定作業の内容は。

答 ロマンチック街道(稲美自動車学校から美幌峠掘り割り付近までの約15km)の植栽本数は、現在、2,100本となっているが、道路・路肩標識が見えづらい状況に対して、下枝払い、枝の剪定を実施する。

美幌峠雲海予測委託

(135万円)

問 内容及び事業効果は。

答 日本気象協会による美幌峠雲海発生予測を情報発信し、町民及び観光客の集客を図る。



～ロマンチック街道～

商工費

つなげる・つながる商店街事業補助

(261万円)

問 具体的な事業内容は。

答 町内4つの商店街が連携し、魅力ある商店街を目指すことを目的として、次の事業を実施する。

①年間を通した統一イベント(ブックストリート、フラワーフェスタなど)

美幌峠レストハウス2階改修工事

(5,000万円)

問 具体的な改修内容及びキッズスペースの必要性は。

答 主な改修内容は次の通りです。



～美幌峠雲海～

一般会計歳出予算と主な事業

◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	8,330万3千円	(0.4%)
総務費	4億5,155万5千円	(△6.3%)
◆庁舎耐震診断委託料	913万7千円	
◆東町集会所建替実施設計委託料	288万円	
◆防犯灯等LED化調査委託料	800万円	
民生費	23億4,933万3千円	(△1.9%)
◆子ども発達支援センター移転改修工事実施設計委託料	256万円	
◇子どものための教育・保育給付費負担金	1億2,522万9千円	
衛生費	9億212万7千円	(5.8%)
◆後期高齢者歯科健診委託料	390万円	
◇レディース検診委託料	620万7千円	
労働費	3,294万5千円	(0.1%)
農林水産業費	5億2,590万3千円	(4.1%)
◆豊高第2地区農地整備事業分担金	425万円	
◆美幌日並地区草地整備事業分担金	800万円	

商工費	5億739万4千円	(9.5%)
◇つなげる・つながる商店街事業補助金	261万6千円	
◇美幌峠雲海予測委託料	135万円	
◇美幌峠レストハウス2階改修工事	5,000万円	
土木費	13億6,278万円	(13.7%)
◇除雪対策事業	1億6,744万1千円	
消防費	4億7,063万5千円	(△2.4%)
◆消防庁舎改築基本構想・基本計画策定業務委託料	481万7千円	
教育費	19億3,503万9千円	(82.8%)
◇町民会館改築事業費	9億6,092万6千円	
◆スポーツセンター耐震化実施設計委託料	1,081万1千円	
公債費	11億159万6千円	(△3.3%)
職員給与費	13億2,913万5千円	(△3.3%)
予備費	100万円	(0.0%)
合計	110億5,274万5千円	(9.8%)

公園施設更新工事
(5,871万円)

問 工事内容は、子どもの利用頻度の高い、いなみ北公園、あおやま南公園、ひがしまち公園の複合遊具を更新す

土木費



～美幌峠レストハウス～

とおり。①キッズスペース新設②記念撮影コーナー新設③床材改修④インバウンド対策(看板の多言語化、タブレット設置)など。また、キッズスペースについては、子ども連れが気軽に立ち寄り、遊べるスペースとして新設するが、内容について協議調整していき

問 内容及び補助予定人数は、町間口対策として、町



～美幌高校～

美幌高等学校農業科間口対策補助
(120万円)

教育費



～いなみ北公園～

る。遊具の選定については、3つの小学校を対象にアンケート調査を実施している。



～美幌陸上クラブ&クロカン少年団～

問 拡大する補助内容は、
答 本町のスポーツ選手のさらなる活動の促進と選手・指導者への支援を強化するため補助率を引き上げる。補助率は、スポーツ少年団選手の全国大会出場経費(交通費、宿泊費を1/2から2/3に引き上げる等)となっている。

外の生徒の保護者に対して就学費用の一部10万円を入学時に補助する。対象者は12名を見込んでいる。

問 非常勤医師(麻酔科医師等)の賃金及び看護士の想定年収の20%を紹介会社に支払う内容となっている。

病院事業会計



～美幌アスパラうどん～

地産地消(食育)推進事業(60万円)
問 事業目的と内容は。
答 町内で生産加工された食材を活用し、地産地消と併せて食育の推進を図りたい。学校給食として、美幌産アスパラうどん、美幌トマトパスタ、びほろ豚ジンギスカンを提供する。

「パークゴルフ場及び室内ゲートボール場整備基金」を廃止し、「屋内多目的運動場整備基金」を設置

平成29年3月定例会では、6件の条例制定・改正、1件の規約変更を審議し原案どおり可決しました。ここでは、主な条例改正についてお知らせします。

■美幌町基金条例の一部改正

パークゴルフ場の整備完了及び、ゲートボール場としての利用など幅広く利用できる屋内多目的運動場の整備を図るため、「パークゴルフ場及び室内ゲートボール場施設整備基金」を廃止し、新たに「屋内多目的運動場整備基金」を設置しました。

また、竣工から56年が経過した役場庁舎改築資金の準備のため、新たに「役場庁舎改築基金」を設置しました。

基金とは

財政運営を計画的に行うため、あるいは特定の目的のために資金を積み立てるもので、家計における預貯金に相当するものです。

積み立てられた資金やその運用利子は、様々な事業の財源として活用しており、現在、財政調整基金、福祉基金、ふるさとづくり基金など16種類の基金を管理しています。

■美幌町季節保育所条例の一部改正

中央保育所(仲町1丁目142番地の69)の閉所に伴い、その施設を子ども発達支援センターとして利活用するため条例を改正しました。



～中央保育所～

一般質問

9人が登壇

質問者と質問項目

- | | | | | | | | | |
|---|---|--|-------------------------|---|--------------------------------------|---|---------------------|--|
| <p>■上杉 晃央議員……………7頁</p> <p>①室内多目的運動場整備</p> <p>②ボランティア人材の確保対策</p> | <p>■戸澤 義典議員……………8頁</p> <p>①町道等の舗装化</p> <p>②町民相談窓口</p> | <p>■中嶋 すみ江議員……………9頁</p> <p>①B型肝炎ワクチン接種助成</p> <p>②在宅子育て支援</p> | <p>③高校受験生のポイント制度の導入</p> | <p>■坂田 美栄子議員……………10頁</p> <p>①スマホ育児</p> <p>②がんの生存率を高める取り組み</p> | <p>③子育て支援</p> <p>④2018年から変わる英語教育</p> | <p>■稲垣 淳一議員……………11頁</p> <p>①除雪事業</p> <p>②地域おこし協力隊</p> | <p>③スポーツ専門職員の登用</p> | <p>■吉住 博幸議員……………12頁</p> <p>①スケートリンク場の整備</p> <p>②建設行政</p> |
|---|---|--|-------------------------|---|--------------------------------------|---|---------------------|--|

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関(町や教育委員会など)に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあって最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

- | | | |
|--|--------------------------------------|---|
| <p>■岡本 美代子議員……………15頁</p> <p>①災害時のトイレ整備</p> <p>②男性の不妊治療</p> <p>③美幌高校の支援</p> | <p>■高橋 秀明議員……………14頁</p> <p>①観光政策</p> | <p>■大江 道男議員……………13頁</p> <p>①通院医療費助成の拡大</p> <p>②学校給食費の助成</p> <p>③住宅等耐震改修</p> |
|--|--------------------------------------|---|

運動場整備

問 屋内多目的運動場の着工時期は

上杉
晃央議員

答 平成31年度には建設に着工したい



問 「パークゴルフ場及び室内ゲートボール場整備基金」を廃止し、新たに「屋内多目的運動場整備基金」を新設する考えが示されたが、整備はどのように進めていくのか。

①基本計画策定、基本設計、実施設計、事業着手のスケジュールは。

②基本計画策定の進め方は。類似施設の視察調査、町民参加による意見交換の方法は。

③整備候補地選定の考え方は。

答 ①平成29年度の早期に施設の基本設計となる「屋内多目的運動場整備基本構

想」を策定したい。その後、平成29年度中に基本設計に取りかかり、平成30年度中に実施設計を完了させ、平成31年度には建設に着工したい。

②基本計画策定については、

スポーツ関係団体や少年団本部、スポーツ推進委員などからなる屋内多目的運動場検討会議(仮称)を立ち上げ、体育協会、少年団、学校部活動などと意見を交換しながら進めていきたい。また、類似施設の視察調査については、中標津総合体育館やオホーツク管内の屋内運動施設を予定している。

③整備候補地については、検討会議で協議するが、他の施設との効率的な運動や管理運営の効率化を考えると、既存施設であるスポーツセンター周辺が望ましいと考えている。



～北見市端野町サンドーム～

問 類似の屋内多目的運動場の視察の際には、町の職員だけではなく、検討委員

問 スポーツ団体の意見要望を取り入れるほか、健康増進という面からも高齢者のニーズも取り入れながら、幅広く利用できるようにすることが必要と考えるがどうか。

答 スポーツ少年団、学校の部活動など冬場の活動での利用はもちろんだが、高齢者の健康づくりでの利用も考えながら、民生部と協議していきたい。

会のメンバーも同行して意見を把握した方が良いと思うがどうか。

答 近隣市町村の施設であれば、検討委員も同行することも可能だと思うので、多くの目で見て、検討会議の中で協議していきたい。

ボランティア人材

現状と確保対策

問 ボランティア団体会員の高齢化が進み、会員の減少、役員のなり手がいないなど、組織運営にも大きな支障を来している。町主催の各種事業に従事するボランティアの現状をどのように把握しているのか。また、不足するボランティア人材の確保対策についてどのような考えるか。

答 社会福祉協議会が運営するボランティアセンターにおいて、ボランティア人材の育成や活動の援助を行っている。ボランティアの現状は、社会福祉協議会の調査によると、団体で26団体、実人員で763人、平均年齢が68.5歳となっ

ている。人材の確保については、子ども達を対象としたボランティアスクール、出前講座の実施により、次のボランティア世代を育成しており、ボランティアセンターにおいて、若い母親世代が今後のボランティア活動の中心となるような事業展開を検討している。町としては、社会福祉協議会職員の人件費補助や研修会開催の活動協力を後方支援として行っていきたい。

問 ボランティア人材の育成は、社会福祉協議会の事業で行っていると聞いたが、町としても人材不足という共通の認識を持たないと、5年後のボランティアの確保は大変厳しい状況になると思うがどうか。

答 ボランティア活動について、難しく考えてしまうと重くなってしまう。できる範囲のことに取り組むのが、第一義的だと思っている。関係団体と手を携えて、ボランティア活動を支えていきたい。

町道整備

問 町道等の舗装化の考え方は

戸澤
義典 議員 答

私道は砂利の敷き均しなどの維持管理を行う



問 町道等の舗装化の考え方について伺いたい。

①美幌町の都市計画区域内で生活道路として利用され、舗装化されていない町道は何ヶ所で、総延長はどの程度か。また、町道整備計画の策定状況は。

②町道認定されていない生活道路の舗装化の考え方は。

答 ①都市計画区域内の生活道路は、468路線、延長は109kmであり、うち未舗装は、18路線、2.3kmとなっている。また、町道整備計画は、町道の路面劣化による舗装補修が喫緊の課題となっていることから、毎

年見直しを行っている。

②公共的性格のある私道については、「私道取扱要領」に基づき、舗装や側溝などの整備は行わないこととしている。しかし、沿線住民の重要な生活道路であるため、除雪や砂利の敷き均しなどの維持管理を行っている。



問 生活道路ではあるが、私道のため、舗装整備は行わないなどの情報を沿線住民に明確に示す必要があると思うがどうか。

答 自治会要望への回答や個人的な相談についても現地を見ながら、その都度対応している。

町民相談窓口

環境・体制の現状は

問 行政への相談・苦情をはじめ、町民の悩み、困りごとを解決するための「町民なんでも相談室」は、十二分に機能を発揮できる環境・体制となっているか。

答 「町民なんでも相談室」を利用する場合、担当職員が相談内容を伺い、他の部局に関わる専門性の高い内容については、該当する担当者へ引継ぎを行い、さらに法律的な専門性が求められる事案については、無料法律相談を紹介している。相談業務において、初めに相談を伺う際には、他の来

庁者と同じ廊下・カウンターとなるため十分ではないと考えている。今後は、全ての相談業務において、別室の相談室で対応を図ってきたい。



問 専門性の高い分野は、担当者のもとに、相談者を案内することだが、最初から相談者を相談室に案内をして対応してはどうか。

答 安心して相談できる部屋を確保して、複数の担当の連携の中で、解決を図っていくことが必要だと思っている。

メンタルヘルスケア

現状と対応について

問 美幌町職員のメンタル

ヘルスケアをどのように行っているのか。

答 労働安全衛生法の改正により、ストレスチェック制度が義務化されたことから、全職員の439名を対象に実施した。結果、受検者351名のうち、高ストレス者は38名で、そのうち6名が医師との面接指導を実施した。今後も制度を円滑に実施し、積極的にメンタルヘルスケアを推進していきたい。

問 ストレスチェック以外のメンタルヘルスケアの考え方は。

答 ストレスチェック調査では、約1割の職員が高ストレスを抱えている。このことが原因で長期休暇、あるいは休職につながるケースが非常に多い。話しやすい環境をつくり、風通しの良い職場をつくるためにも、管理職の声かけ運動や安全衛生委員会の中で年次的にどういったことをすれば良いか検討していきたい。

予防接種

問 乳幼児のB型肝炎ワクチン接種の対応は

中嶋
すみ江 議員

答

0歳児への接種が適切になされるよう努めたい



問 B型肝炎ウイルスは、

乳幼児期の1歳未満に感染すると持続感染状態(キャリア化)に陥りやすく、慢性肝炎や肝がんになる恐れがあるため、WHO(世界保健機関)は、すべての小児がB型肝炎ワクチンの予防接種を受けることを推奨している。B型肝炎ワクチン定期接種対象外の乳幼児対応をどのように考えているか。

答 平成28年、予防接種法の改正により定期接種が開始され、平成28年4月1日以降に生まれた0歳児で、1歳になる前に3回の接種を終えることとなっている。定期接種の導入にあ

たっては、国の技術的な検討結果に基づき決定されていることから、1歳未満児への定期接種が適切になされるよう情報提供に努めていきたい。



問 B型肝炎ウイルスでの

小児期の感染者は毎年500人前後いると言われている。1歳児以上の予防対策が必要ではないか。

答 B型肝炎ウイルスの水

スグがまだ明らかになつていない。現段階では、1歳までに、もれなく予防接種が受けられる形にしていきたい。

在宅子育て支援

ポイント制度導入の考え方は

問 在宅で子育てをしている

世帯に向けた、子ども・子育て支援事業として「子育て応援ポイント事業」(子育ての不安を解消するための講座などに参加すると図書券・商品券などと交換できるポイントが付与される)を推進する考えはないか。

答 現在、美幌町では出生後、保健師が養育について相談に応じ、助言その他の援助を行う乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)により、母子健康保持と育児不安の軽減を図つ

ている。家庭内保育向け支援のポイント事業については、取り組む予定はないが、調査研究を進めていきたい。



問 大阪府松原市では「子育て応援ポイント事業」開始後、支援施設の利用者が1.7倍に増え、母親の参加意欲を引き出している。どのように考えるか。

答 松原市は、子育て支援センターの利用者数が少ないこともあり、このような施策を行っていると感じている。美幌町の子育て支援センターにおいては、利用者が年間8,500人程度、遊びの広場においても、ほぼ定数は満員の状況であ

る。引き続き、魅力ある行事を展開しPRしていきたい。

インフルエンザ対策

高校受験生への対応は

問 文部科学省は、全国の教育委員会に対し、インフルエンザなど体調を崩した生徒を対象に救済策を求める特段の配慮を求めた通知を出している。美幌町において、高校受験生のインフルエンザ感染対策として取り組んでいること、及び新たに取り組む考えはあるか。

答 美幌町では、予防接種を行う町内医療機関関係者により、季節性インフルエンザ予防接種実務担当者会議を開催し、安定的な医療、適切な接種がなされるよう連携を図っている。また、町広報、出前講座、学校長・教頭会議、生徒指導、保護者説明会においてインフルエンザ対策の啓蒙啓発活動を行い、感染予防に努めている。

福祉行政

問 スマホ育児の悪影響を啓発する取り組みは

坂田
美栄子議員 答

家庭環境の変化を認識し子育て支援を推進したい



問 親が手を離せない時などに、乳幼児をスマートフォンで遊ばせる「スマホ育児」が広まっており、悪影響が心配される。子育て中の親に対する、スマートフォン利用のあり方、子どもに与える影響について情報を発信すべきと考えるが、今後の取り組みについてお聞きしたい。

答 日本小児科医会は、「むずがる赤ちゃんに子育てアプリの画面で応えることは、赤ちゃんの育ちをゆがめる可能性がある。」「スマートフォンなどを見る時間が長くと視力の発達が妨げられる。」など、スマー



トフォンを使った育児を見直す提言が示されている。このようなことから、美幌町では、4ヶ月、10ヶ月、1歳6ヶ月、3歳児健診及び、乳幼児相談時にリーフレットを用いながら、スマートフォンとの適切な利用について指導している。多様なメディアと上手につきあっているよう啓発するとともに、関係機関と連携を図りながら子育ての支援体制の推進に尽力していきたい。

がん検診

受診率向上対策は

問 がんは初期で見つかった人ほど生存率が高く、検診を定期的に受けることの重要性が示されており、がん治療の進歩で生存率が上がっている。美幌町のがん検診の受診率向上とがんの予防施策について、どのような取り組みが行われているのか伺いたい。

答 美幌町では、疾病の兆候をより早期に見出し、早期治療に繋げることを目的に、各種がん検診を実施している。検診料の自己負担額の軽減に加え、受診しやすい体制整備のため、子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診において、5歳刻みの一定年齢の町民に無料クーポンを配付している。ま

た、電話やはがきによる受診勧奨や新聞への折り込み、広報、ホームページの掲載により広く周知し、受診率の向上に取り組んでいる。

問 検診の受診率向上に成果があらわれないのは、どこに問題があると考えるか。

答 健康増進計画のアンケートでは、「時間がない」「検診料が高い」などの項目があがっていることから、集団検診の日曜日・早朝実施や検診料の値下げを行って受診率向上対策に取り組んでいる。

子育て支援

一時保育・一日預かり

問 一時保育・一日預かりが希望どおり受け入れられ、親が安心して働ける支援体制となっているか。

答 子育て支援センターでは、保護者の就労による場合、子ども・子育て支援新制度により、受け入れが72時間に拡大した。利用する時間によっては、人的・物

理的に一日4〜5人が限度であり、それ以上の申込みには保育園との調整や民間保育事業者を紹介し、受け入れの確保を図っている。

小学校英語教育

今後の取り組みは

問 小学5・6年生に導入されている外国語活動を、2020年度から小学3・4年生に前倒しするなど、英語教育の低年齢化が盛り込まれているが、道内の各小学校においては、英語を指導できる教員を確保できるかが課題となっている。美幌町の今後の取り組みについて伺いたい。

答 美幌町の英語教育の現状については、ALT（英語指導助手）を配置し、小中学校及び教育相談室に随時派遣しており、コミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実を図っている。

除雪体制

問 除雪作業の民間委託の考えは

稲垣

淳一

議員

答

委託化に向けた課題を多面的に検討したい



が挙げられる。一方、民間委託に向けての課題として、受け皿となる事業者の受け入れ環境が整うことが必要となることや除雪車両の設備投資の問題がある。

図りながら、直営と委託のあり方について検討していきたい。

問 過去にも、特別養護老人ホームなどを民間委託している。町の事務事業含めて、行政のスリム化がこれからの町づくりの大前提となると考えるがどうか。



答 これまでも、業務の民間委託や指定管理など取り組んできた。しかし業務委託によって、コストが下がったが、サービスも低下したということがないように、しっかりと考えていかなければならない。

地域おこし協力隊

求める人材は

問 除雪事業の民間委託の考えは。

答 民間委託のメリットを最大限に生かすためには、関係者と多面的な検討が必要と考えている。「民間にできることは民間へ」という考えの下、課題の解決を

問 地域おこし協力隊事業（地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を行ってもらうことで、地域力の維

持・強化を図っていく）について、どのような分野・内容で人材を募集するのか。また、事業に対する効果について伺いたい。

答 まちづくりを進めて行く中で、外部からの視点により様々な取り組みが可能となる分野を中心として検討していきたい。また、事業の成果として、地域おこし協力隊員と町民との協働により地域活性化につなげていき、本町への定住も期待している。

スポーツ専門職員

登用の考えは

問 スポーツレベルの向上、スポーツ環境の整備等スポーツに特化した人材を採用し、町を盛り上げていく考えはないか。

問 指導者の育成は、子どもたちの活躍やスポーツを通じた教育という観点で重要であり、スポーツ環境を整備していくことが、健やかな子ども達の成長に欠かせないものと考えている。教職員や地域の人材など、

指導者の育成を図るとともに、トップアスリートの人材活用や専門職員の登用も含め、調査研究したい。

問 美幌町は冬のスポーツを中心に、多くのトップアスリートを輩出している。一流を極めた人は、視野が広く、色々な見方ができると思うがどう考えるか。

答 美幌町出身の選手が、全国・世界で活躍し、町民・子ども達にとつて大きな力となっている。これは、本人の努力はもとより、熱心な指導者によって活躍できていると思う。本町出身のトップアスリートが力を貸してくれるのは本当にありがたいことだと思っている。



施設整備

問 アスファルト基盤のスケートリンク整備の考えは

吉住
博幸
議員

答 財源・用地の確保など十分な検討が必要



問 網走川河畔公園河川敷以外の場所、コンクリート・アスファルト基盤のスケートリンク場を整備する考えはないか。

答 現在、河川敷地において、12月下旬から2月中旬まで利用可能なスケートリンクを整備している。北見市では、アスファルト基盤のリンクを約4億7千万円で整備しており、施設整備には、財源の確保が必要である。毎年、リンク造成にかかる負担や利用期間の確保を考えると、舗装された専用リンクとして整備を行うことが望ましいが、用地の確保も含め今後十分な検討が必要である。



問 今後、屋内多目的運動場の整備も行われる予定だが、あわせてスケートリンク場を整備してはどうか。

答 現在、スケート協会から、夜間照明の増設や音響設備の整備などについて要望がある。それらの内容も協議しながら考えていきたい。

災害・除排雪

作業体制について

問 災害及び除排雪時における作業方法及び作業体制について。

①建設水道部内の職員の連携はとれているのか。
②技術系職員の経験錬磨は向上しているのか。
③運転手・作業員の臨時職員に対して、適切な指示がなされているのか。また、臨時作業員の研修は実施されているのか。



答 ①大雨災害時には、常に迅速かつ臨機応変な対応が求められる、また危険も伴

うことから、全職員が連携を密にして取り組んでいる。また、除排雪時においても一斉除雪時や除排雪後の道路確認など、全職員が連携し対応している。



②道路や水道施設などの建設・修繕に従事する技術系職員は、技術の習得に多くの経験を必要とすることから、主幹・主査の指示助言を受けながら現場監督業務に従事している。
③運転手・作業員への業務の指示、作業日程や内容は、主幹や維持・管理担当職員の指示の下、作業を行い現場確認を行っている。また、研修については、毎

年、除雪会議時に美幌警察署地域交通課に除雪に関する注意事項と除雪時の事故防止を目的とした交通講話をお願いしている他、道路維持作業に係る安全衛生研修に計画的に参加している。

問 除雪作業時、特に大雪の際には、技術系職員ばかりでなく、事務職員含めて町内の状況を確認し連携する必要があると思うがどうか。

答 職員は、常に現場で確認、指摘を受けながら経験を積み重ねている。職員相互の連携を図りながら技術向上を図っていきたい。



子育て支援

問 子どもの通院医療費助成拡大の時期は

大江
道男 議員 答

財源確保を図り前向きに検討したい



問 平成26年12月30日に議会による政策提言を行った。内容は、美幌町が子育て支援オホーツクNO1の町を目指して「少なくとも中学校卒業までの医療費無料化」である。しかし、平成29年度予算においても、通院医療費助成拡大は見送られている。町政執行方針では「通院に係わる助成拡大についても検討を進める」とあるが、拡大の検討状況や時期は。

答 通院医療費助成を小学生に拡大した場合、約2,300万円の増額、更に中学生まで拡大すると約3,200万円の増額となり、

最大で約6,100万円の予算が必要になると試算している。医療費助成は恒久的な多額の財政負担を後世に強いるものとなり、半永久的な事業となり得るため、導入に際しては慎重に検討を重ねて決断したい。



問 町を挙げて、子育て支援をやっている、安心して子どもをこの町で育てていこうという状況で、美幌町のテンポは大変遅いと思うがどうか。

答 医療費無料化の実施については、全国の市町村で競争のようになってきている。財政格差が医療格差になってはいけないと思うので、基本的には、国がすべて医療費助成をすべきだと思っている。引き続き、国や道に訴えていきたい。

問 学校給食費の補助を道内79市町村（44%）で実施しており、美幌町でも積極的に検討すべきと考えますが、検討経過を伺いたい。

答 様々な子育て支援事業に取り組む中、学校給食費についても助成する市町村が増えていることから、今後、調査・研究すべきものと考えているが、就学援助制度により、準要保護児童生徒などを対象に給食費負担分の給付がなされていることから、現状においては、新たな助成は考えていない。

住宅等耐震改修

ない。

状況と課題は

問 全国の住宅耐震化率は、79%、特定建築物（特定用途に利用される部分の面積が、3,000㎡以上（学校教育法第1条に規定する学校の場合は8,000㎡以上）の建築物）は、約80%となっている。美幌町の住宅・建築物の耐震化の状況はどのようになっているのか伺いたい。

答 平成27年度が最終年度となる耐震改修促進計画が終了したことから、計画期間を平成33年度までとする見直しを進めている。前計画が終了した平成27年度では、住宅75.8%、特定建築物81.3%となっている。

問 美幌町の住宅等耐震化目標達成の可能性と課題は。

答 現在、見直し作業中の耐震改修促進計画は、目標年度を平成33年度とし、耐震化率は国及び北海道の計画目標に添った95%とし

た。耐震改修工事を行う際には、工事費が多額になることなど、目標達成はかなりハードルが高いと認識している。

問 「安価な耐震化工事」を目指して、安価・合理的に実施する工法の開発が行われている。美幌町の工法の開発・普及はどのような状況か伺いたい。

答 現在のところ、安価な耐震化工法を開発している状況にないが、北方建築総合研究所で作成している「住宅の性能向上リフォームマニュアル」の情報をリフォーム促進補助事業に併せた耐震改修補助事業を促進する中で周知していきたい。



観光政策

問 美幌町観光の発展に向けた考え方は

高橋

秀明 議員

答

美幌峠を核とした観光振興を図っていききたい



問 美幌町は、新たに「美幌町観光振興革新戦略ビジョン」を策定し、なお一層の魅力ある観光を再構築する意思表示を行った。今後の観光発展に向けての考えを伺いたい。

答 「美幌町観光振興革新戦略ビジョン」は、大きく変化する観光客の旅行形態や観光ニーズに対応し、年々減少する観光入込数の安定維持、拡大を図るため策定された。戦略ビジョンで掲げた施策を着実に実行するため、観光物産協会、商工会議所と協議及び進行管理しながら推進している。本町観光の拠点は美幌峠で

あり、美幌峠を核とした観光振興を図り、美幌峠に来た観光客をいかに美幌町内に呼び込み、消費につなげていけるかが重要と考えている。観光拠点の更なる魅力アップと事業展開を図り、関係団体と連携を図りながら観光振興を推進していききたい。



問 地域独自の魅力や価値の向上、地域力を高めるため、外部専門家である、地域力創造アドバイザーを招

へいする考えは。

答 現在、商工会議所が中心となつて、美幌ニューツーリズム開発委員会（美幌町の魅力を再発信し、新たな観光メニューの開発を目指す）を立ち上げ準備を進めている。

観光宿泊施設

民泊の可能性は

問 観光政策において必要不可欠な要素のひとつとして、宿泊施設がある。最近では、自治体や各団体による空き家を利用した民泊を含めた観光資源の活用が盛んに行われるようになり、国も法整備をして積極的に推し進めようとしている。美幌町も空き家を有効利用した宿泊施設を増やす考えはないか。

答 「第6期美幌町総合計

画」及び「美幌町観光振興革新戦略ビジョン」においても宿泊施設の誘致を掲げており、商工会議所をはじめとした関係団体と連携を図りながら誘致に向けて努力していきたい。空き家を活用した、民泊施設を開業する上では、東京圏・関西圏などの「国家戦略特区」エリアの一部を除き、旅館業法・消防法・建築基準法等の様々な法的規制があり、多くの課題がある。現段階において、本町で「空き家」を宿泊施設として活用することは難しい状況ではあるが、可能性について検討していきたい。



問 町の施設で空いている空間を利用して宿泊施設にするなど、柔軟な考え方もあって良いと思うがどう

か。

答 寝具を提供する簡易宿泊施設としても、旅館業法に基づいて許可をとらなければ、法的に認められないことになっている。全国には特区（地方自治体が申請し、国が認可する）により、26の宿泊施設があるが、北海道内にはない状況であり難しい。



問 宿泊施設の誘致活動をどのように行っているのか伺いたい。

答 民業圧迫などの問題があり、町が主体的に関わっていくことは難しいが、取り組まなければ、観光全体の発展は難しいと思っ

災害対策

問 マンホールトイレを整備をする考えは

岡本
美代子議員 答

災害時備蓄計画に基づき進めていきたい



問 災害時のトイレの提供は重要であり、国や自治体で対策を進めている。昨年

用トイレ袋300枚を配備することとしている。今後、下水道事業の総合的な安全対策を進めていく中で、マンホールトイレの整備について、公共施設の整備とあわせ検討していきたい。



～ マンホールトイレ ～

4月の熊本地震においては、水洗トイレの感覚で利用できる「マンホールトイレ」を事前整備していたため、利用者から大変好評であった。美幌町においても災害対策として、今後の公共施設整備や改築時、避難所改築時にトイレ整備の調査・研究をしていく考えがあるか伺いたい。

答 美幌町の災害時のトイレ整備状況については、災害時備蓄計画に基づき、平成30年度までに、仮設トイレ32基、非常

問 マンホールトイレは、衛生面においても優れているが、設置するのに不都合はあるのか。

答 下水道管及びマンホールの上にトイレを設置するため、地震等で下水道管が破損した場合には、使えなくなる可能性がある。また、

5基設置する場合の試算をしたところ、約550万円となり、各避難所全てに設置した場合、多額の事業費が必要となる。

男性不妊検査・治療

国保病院での対応は

問 不妊は女性だけの問題ではなく、原因の半数が男性側にもあると言われている。無精子症や乏精子症など、男性が不妊かどうかの確認をするため、美幌町国民健康保険病院での検査・治療体制はどのようなになっているのか伺いたい。また、男性の不妊治療助成制度についてお聞きしたい。

答 国保病院泌尿器科において、一般的な精液検査のほか、ホルモン検査、精索静脈りゅう超音波検査が可能であり、異常所見があつ

た場合は、薬物・手術療法による治療が可能となっている。また、男性の不妊治療に対する助成については、国の制度により15万円を上限に受けることができ、北海道の事業として、第2子以降の拡充した助成も行っている。

問 国保病院において、検査・治療が可能であることを広く町民に知らせることが必要では。

答 国保病院広報誌「一期一会」やホームページを利用して情報提供に努めていきたい。

美幌高校生徒確保

支援の考えは

問 美幌高校を地域の魅力ある高校として守る取り組みは最重要課題であり、生徒確保対策を拡大すべきと考え。今後の支援策について伺いたい。

答 美幌高校農業科の間口確保対策として、平成29年度予算において、町外から入学する生徒の保護者に対し、10万円を助成する予定

である。また、ニュージールランドの留学派遣事業の継続や美幌高校生による美幌伝導大使の取り組みに対して積極的に支援を行うこととしている。その他、マラソン大会へのスクールバスの臨時運行、美幌高校の協力による古典文学講座や美幌高校町民開放講座の開催など、継続して取り組みを進めていきたい。

問 美幌高校は道立のため、町がどれだけ関わられるのかという問題をどのように考えるか。

答 高校の間口問題も含めて、道教育委員会には、しっかりと取り組んでほしいが、地域の高校を守るためにも、町が総力を挙げて対応していきたい。



～ 美幌高校 ～

平成28年度第3回議会報告会・意見交換会を開催しました ～「住み続けたいくなるまち」をテーマに意見交換～

2月13日（月）、平成28年度第3回目の自治基本条例に基づく「議会報告会と意見交換会」をマナビティセンター（昼の部）としゃきっとプラザ集団健診ホール（夜の部）で開催し、30名の方が参加しました。

大原議長から11月臨時会・12月定例会・12月臨時会の審議内容（決算審査特別委員会決算認定、常任委員会事務調査結果など）について報告しました。

議会報告会に引き続き、参加者の皆さんと意見交換を行いました。主な内容は以下のとおりです。

◆ 中心市街地の活性化について

スマッピーカードチャージのイベントはいつも盛況である。今後の街づくりに活かしてほしい。

◆ 子どもの医療費無料化について

医療費無料化については、中学生の入院まで拡大した。通院（外来）も含めた無料化に期待したい。

◆ ふるさとづくりについて

子どもの心に何を残せるか。様々なイベントで、ふるさとの思い出を作ってあげてほしい。

平成29年度議会報告会・意見交換会を開催する予定です！

みなさんの生の声をお聞かせください。

議員一同お待ちしております。

日程など決まり次第、広報、ホームページによりご案内いたします。



議会ホームページも ご覧ください

議会の様子を速やかにお伝えするための「本会議開会中のライブ中継」や常任委員会の開催日などもお知らせしています。町議会を町民の皆様にもっと良く知っていただき、少しでも身近に感じていただくためにも皆様のアクセスをお待ちしています。

●美幌町ホームページ

(<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp>) から「美幌町議会」をクリックして下さい。

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、臨時会は必要に応じて随時開かれます。議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

6月定例会は6月20日（火）頃から開かれる予定です

日程が正式に決まり次第、町のホームページなどでお知らせします。

あ と が き

▼青く澄んだ大空に勢いよく泳ぐ鯉のぼり、また野外では子ども達の遊ぶ元気な声が聞こえ躍動する季節を迎えました。

▼畑では苗植えが始まっています。今年は災害に遭わず笑顔満開で実りの秋を迎えることができそうですよう豊作を祈ります。

▼木育広場「きてらす」の利用者が3月30日、5万人に達成しました。

▼今年3月の定例会では、新しい試みとして、新年度予算に対する疑問点を各議員が整理したあと、本会議で質疑を行い、「議会の見える化」に取り組みました。引き続き、町民の負託に応えるため全議員一丸となって頑張ります。

議会広報編集委員会

委員長 早瀬 仁志

委員 坂田美栄子
委員 中嶋すみ江